

# つながる通信 Hyogo

## 前略研修会より

第2回兵庫区 **魁!** 在宅看取り塾 開催しました。

訪問看護師の視点がよくわかる「在宅看取りと多職種連携」

日時：令和5年1月26日（木）14：00～15：30

場所：兵庫区医師会会議室、オンライン（ZOOM）

参加：32名（会場9名+オンライン23名）

講演：「最期まで自宅で過ごしたい～家族を含めた多職種との関わり」

講師：藤永 恵子先生（訪問看護ステーションめぐみ 管理者・メッセンジャーナース）



講演内容一部紹介

**○看護師がどんな風に考えているか** 精神面 身体面 社会面 スピリチュアル面この4つを大事にしている。  
・その人らしい生活を送ってもらうために考える。予測をする。

例えば、初回訪問で、家の中を見る。体の状態だけでなく、窓の位置、日の入り方も見る。環境が大事である。

**○在宅看取りをされた事例のご紹介（5ケースご紹介いただきました）**

**○連携がスムーズにいくために**

- ・初回のサービス担当者会議を、有意義なものにする。すべてにおいて本人・家族の思いを確認する。今一番何が困ってるのか？ 不安をとることから。
- ・大体のケアプランをケアマネジャーと一緒に考えられる役割も担っている。
- ・「困ったら訪問看護ステーションめぐみに電話ください。」と本人・家族はもちろん、ヘルパー等介護サービス事業所へ伝えている。困ったときに使ってもらえればいいというスタンス。
- ・連携ノート・ラインワークス等も使いわけながら連携。

**○ケアマネさんへ** サービス依頼の時にだけでなく、「こんな人がいるんですけど？ どんな時に行ってもらえる？ どういうタイミングで入ってもらえればいい？」等、相談できる訪問看護ステーションに聞いてみてください。聞ける関係性が大事です。

**○残される家族が後悔しないために**

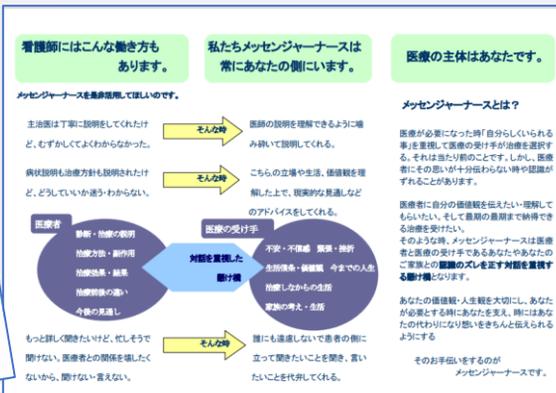
家で看取ってよかったと思ってもらえるようにする。本人と家族の関係性をみながら、主治医・看護師・ケアマネジャー・ヘルパー等全員が関わる。声をかける。ねぎらう。

**○私らしく生きるためのノートの活用**

ノートをお渡しした方、その時は少しノートに思いを記入されていた。それから数年後、本人はノートのことを覚えておられ、今度は「最後の時には・・・」と思いを書かれた。待つことも大事。今後も活用していきたい。

### アンケートより 参加者の声

- ・訪問看護の現場の実体験を拝聴でき在宅の看取りについて考える機会となりました。「全て残される家族が後悔しないように」その為に訪問介護として連携できるようにしていきたいと思いました。
- ・ご本人の思いとともに家族の思いに寄り添い、家族ケアを行うことの重要性を学び直す機会となりました。
- ・色々な看取りの形があり、連携をとりながら支援していくことの大切さを学びました。



**メッセンジャーナースとは**  
医療の受け手が自分らしい生を全うする治療・生き方を選択する際に、心理的・内面の葛藤を認め、認識のずれを正す対話を重視する懸け橋がメッセンジャーナースである。

藤永先生が資格を取得された動機は、長年やってきたことが大きくずれていないか確認するためだったそうで、全国から東京へ研修に来られた看護師との交流により視野が広がったとご講演でお話いただきました。

皆さまへ

いつもサポートセンターへ貴重なご意見をいただきありがとうございます。皆さまからいただきましたご意見は、今後も研修計画に活かしていきます。引き続き、ぜひご意見・ご要望等お聞かせくださいますようお願いいたします。

2/16(木)18時～19時30分

## 多職種交流会 兵庫区から`23冬 開催決定!!

講演 病院と在宅の連携を促進するために  
～病院の看護管理者の立場から、地域で活動する専門看護師の立場になって気づいたこと～

講師 藤原 由佳 氏 (がん看護専門看護師)  
訪問看護ステーションあさんて・はな

申込QRコード



最近感じている連携の課題について  
多職種で話をしませんか？

病院の事情・在宅の事情を理解し  
連携に役立てませんか？

これまでの交流会や入退院連携に関する研修会でいただいたご意見の一部

- ・電話やファックスでの連携で退院するも、情報とADL が合っておらず、サービスの変更や再入院が必要になったケースがあった。
- ・コロナ禍で病院との情報交換が困難になり顔の見える関係づくりができなくなっているため交流できる機会があるとよい。
- ・それぞれの考え方もあり、温度差があると思いますが、交流会が継続することで連携についての意識が向上すればよいと思います。
- ・病院側のご意見を聞け、今後さらに活かせる連携シートを作成したいと思いました。
- ・困っていること等、少し共有できました。
- ・会を重ねるごとに職種を越えて顔がみえてきていてよかった。

3/30(木)14時～15時30分

兵庫区医療介護関係者研修会

## 精神疾患を抱える方とのスキルコミュニケーション ～そもそも共感ってどうやってするの？～ 開催決定!!

講演 精神疾患を抱える方とのスキルコミュニケーション  
～そもそも共感ってどうやってするの？～

講師 八田 篤郎 氏 (精神看護専門看護師)  
湊川病院 看護部CNS室  
滋賀医科大学客員助教

申込QRコード



共感できているつもりなのに  
うまくいかないのはなぜ？

グループワーク「専門家に聞こう！こんな時どうすればいいですか？」

これまでの精神疾患に関する研修会アンケート等でいただいたご意見の一部

- ・精神に障がいをお持ちの方々の理解に努めたいと思う。
- ・利用者とのよい関係を築き、訪問活動をしたい。
- ・どのように声をかけてよいのか悩んでしまうことが多い。
- ・症状はあるが診断がつかず対応に苦慮している方がいる。
- ・支援の難しい分野で、どのように関わっておられるのか知りたい。
- ・これまでは傾聴やレクリエーション以外での具体的なケアをしていなかったため勉強になった。
- ・知っているつもりが、全く知らないことが多かった。
- ・今後も精神疾患を抱える方への支援方法を、事例を交えて知りたいです。
- ・共感能力を高めたい。
- ・医療につなげにくいケースについてどのように支援すればよいか教えてほしい。

# 兵庫区医療介護連携推進協議会・兵庫消防署連絡会議 が開催されました。

兵庫区医療介護サポートセンターでは、地域の医療介護等関係者の連携を推進するため、お互いの業務の現状等を知り、顔の見える関係づくりを行うことを目的とした**多職種連携会議**を開催しています。

1月12日は、兵庫区医療介護連携推進協議会と兵庫消防署の連絡会議を開催しました。兵庫消防署からは令和4年の救急出動状況や神戸市メディカルコントロール検討委員会のDNAR対応に関するワーキングについてご報告いただき、意見交換を行いました。

兵庫区医療介護連携推進協議会の構成団体  
 (兵庫区医師会・兵庫区歯科医師会・兵庫区薬剤師会・兵庫区役所・兵庫県看護協会・兵庫区訪問看護ステーション連絡会・兵庫区居宅介護支援事業所部会・神戸市ケアマネジャー連絡会・兵庫区地域医療連絡会・兵庫県歯科衛生士会・神戸市老人福祉施設連盟・兵庫区社会福祉協議会)

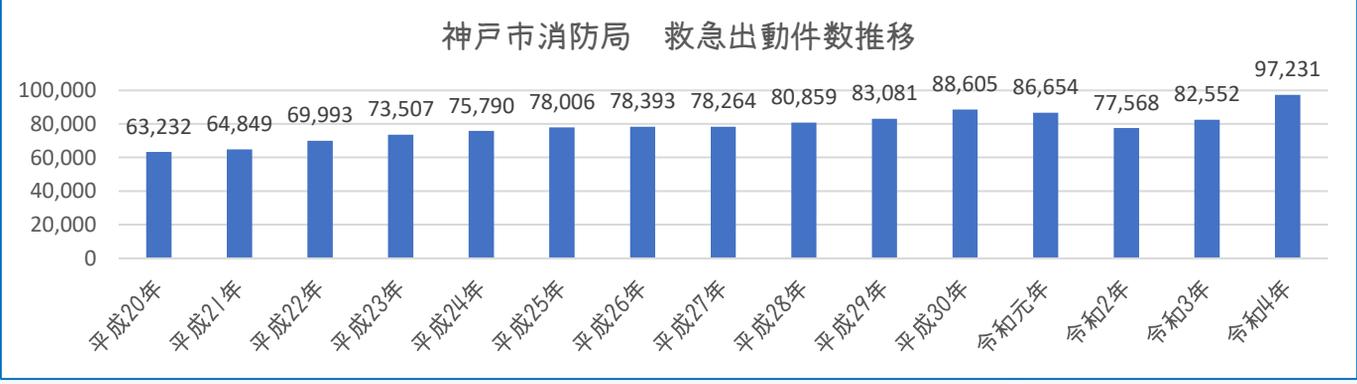
## つながるニュース

**速報**

神戸市消防局  
 昨年の救急出動が過去最多を更新

NEWS

令和4年の1年間に神戸市消防局が受けた119番通報の件数が13万件を超え、過去最多となりました。救急車の出動件数も9万7千231件と前年より1万4000件増えて過去最多を更新しました。



### 診てくれる病院はどこ？救急車を呼んだほうがいい？

迷った時は「#7119」にお電話を

078-331-7119 (ダイヤル回線、IP電話などでつながらない場合)

「#7119」とは、神戸市域を対象に、「夜中に熱が下がらない」、「お腹が痛い」など、急な病気やケガで、今診てくれる病院が分からない時や、救急車を呼ぼうか迷った時に24時間年中無休で、いつでも相談を受け付ける救急相談ダイヤルです。

#### ○対応件数は増加

2018年～2021年は年9～10万件に対応したが、22年は新型コロナウイルスの流行の影響もあり、2022年10月末時点で11万3260件と既に過去最多を更新している。

#### ○「#7119」の認知度伸び悩む

市民を対象にインターネットで実施した#7119の認知度アンケートは、2022年10月は68.3%、開設から5カ月後の2018年3月は67.8%で、ほぼ横ばいとなっている。

急な病気やケガで 病院？救急車？  
 迷ったら、**#7119** にお電話を！  
 24時間年中無休 (携帯電話・FAX・FAX用紙は不可)

ダイヤル回線やIP電話でつながらない場合は 078-331-7119 (すべての電話でご利用いただけます)

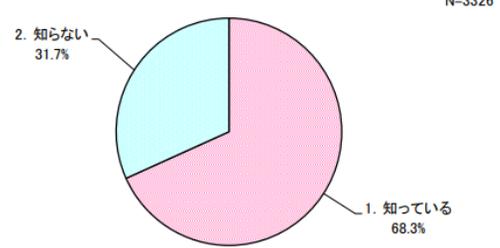
相談できないもの  
 犯罪、自殺方針、介護相談、健康相談、育児相談、セクハラやパワハラ

緊急度が低い  
 医療機関案内

緊急度が高い  
 救急出動

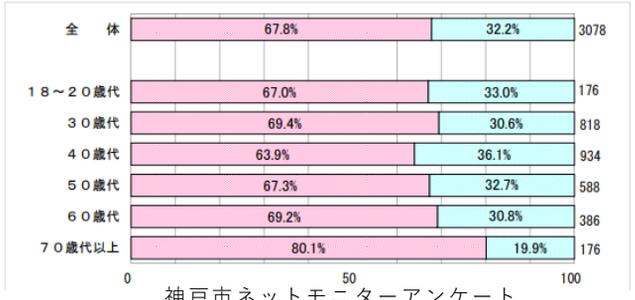
緊急度が低い場合は、119番へ電話転送します。

あなたやあなたの方の急な病気やケガでどうすればいいのか迷った時に、看護師に救急の相談や受診可能な医療機関を開くことができる「救急安心センターこうべ (#7119)」という電話相談窓口が神戸市内で利用できることをご存じですか。



神戸市ネットモニターアンケート  
 調査期間：2022年10月18日～10月31日

神戸市では平成29年10月より、医療機関案内や看護師による救急医療相談を24時間年中無休で行う救急相談ダイヤル「救急安心センターこうべ (#7119)」を開設しましたが、知っていますか。



神戸市ネットモニターアンケート  
 調査期間：2018年3月6日～3月19日

# 研修会開催予定

開催予定日時	場所	テーマ
R5. 2月16日 (木) 18時～19時30分	兵庫区医師会会議室 オンライン 	多職種交流会 兵庫区から `23冬 講演「病院と在宅の連携を促進するために ～病院の看護管理者の立場から、地域で活動する専門看護師の立場になって気づいたこと～」 講師 藤原 由佳 氏 (がん看護専門看護師) 訪問看護ステーションあさんて・はな
R5. 3月30日 (木) 14時～15時30分	兵庫区医師会会議室 オンライン 申込 QRコード 	令和4年度第2回兵庫区医療介護関係者研修会 講演 精神疾患を抱える方とのスキルコミュニケーション そもそも共感ってどうやってするの?? 講師 八田 篤郎 氏 (精神看護専門看護師) 湊川病院 看護部CNS室

## 「兵庫区医療介護サポートセンターって何?」と思われる方々へ

医療介護専門職の皆さまからのお問い合わせ・ご相談を受け付けております。

お気軽にお電話ください  
078-575-5711

～～～ある日のご相談～～～

「体の状態が悪く通院ができなくなった。主治医は訪問診療されていないので訪問診療されている先生を紹介してほしい」

主治医へ相談される前だったため、「先に主治医に相談されるように」とお伝えしました。

「主治医に相談したところ、訪問診療されている先生を紹介していただいた」とのことでした。

## Hyogoku三択クイズ 三択正におれはなす!!



- 兵庫区の持ち家割合は? A. 39.9% B. 51.5% C. 67.9%
- 兵庫区西柳原町で生まれ育ち、映画評論家として長年親しまれた淀川長治さんの名言は?  
A. 「さあ、あしたもまた長い、いい日でしょうよ。しかも、はじめからおわりまでおまえのものなのよ。とても楽しいことじゃない!」  
B. 「人にできて、きみだけにできないなんてことあるもんか!」  
C. 「私はいまだかつて、嫌いな人に会ったことがない。好きになることがどんなに人を助けるか、私は知っている」



答え 1. Aが兵庫区 B. 長田区 C. 西区  
その他の区 (東灘区56.9%・灘区49.5%・中央区35.9%・北区70.4%・須磨区62.8%・垂水区63.5%)  
出典 神戸市ホームページより 国勢調査2020年10月1日時点

2. Cが正解 Aはムーミンママ Bはドラえもん (竹馬を練習するのび太に向かって)

兵庫区医療介護サポートセンターは、医療、介護、福祉の関係者の皆さまからの在宅医療に関するお問い合わせ・相談への対応や、各種の研修、市民の方への在宅医療・介護に関する普及啓発などの業務を行っております。医療・介護・福祉関係者の皆様、お気軽にお問い合わせください。

兵庫区医療介護サポートセンター コーディネーター：青山・藤本  
受付時間：月～金曜日 (祝日・年末年始を除く) 電話：078-575-5711 FAX:078-575-5712  
兵庫区医療介護サポートセンター：<https://kobe-iks.net/area/hyogo>



神戸市医療介護サポートセンター  
ホームページQRコード